

新古書店として発展してきた「ブックオフ」だが、今後は、軸足を本から衣料品やブランド品などに移すという。本格的なダウンロード時代となり、書籍、CD、DVDなどの販売が軒並み落ちているので、これは仕方ないことだろう。現在ブックオフは、約900の中古書籍取扱い店と、書籍以外の衣料・ブランド・スポーツ用品などを取り扱う大型複合店16店を全国展開している。同社によると、今後はこうした業態の店舗を増やしていくという。